

# 第9回 子どもの療養環境 研究発表会

主催：NPO子ども健康フォーラム  
共催：あいち小児保健医療総合センター

病気をもつ子どもとその家族の身体的・精神的・社会的な負担を減らし、前向きな生活を提供することが、子どもの療養環境に求められています。子どもの療養環境研究発表会では、よりよい療養環境作りを目指して各施設で行われている活動報告と意見交換をしています。

そこで、遊び・建築・森などの環境と、医療・福祉・教育等の子どもを支える様々な分野に関心のある方の参加を希望します。この研究会が参加いただいた皆様と一緒に、子どもの療養環境の改善について考える機会になることを期待しています。

特定非営利活動法人子ども健康フォーラム 理事長 田邊 穰  
実行委員長 鈴木賢一

日時：平成20年6月8日（日） 会場：あいち小児保健医療総合センター地階大会議室

参加費：NPO子ども健康フォーラム会員：無料 会員以外：一般2,000円、学生1,000円（懇親会、抄録代含）  
出席の為の事前申込は必要ありません。

会場の周辺には、飲食店がございません。会場にはレストラン「リトルバード」がございますが、入院しているお子様のご家族の方などで混雑いたします。つきましては、お弁当を450円で準備させていただきます。ご希望の方は、5月30日（金）までに下記事務局へFAX、E-Mailのいずれかでお申し込み下さい。お支払いは当日会場にて受付の際にお支払いいただき、お弁当券を配布します。研究発表会終了後、ホワイエにて懇親会を開催します（17：10～18：00）。参加費無料なので、是非参加下さい。

「子どもの療養環境研究発表会事務局」  
〒464-0083 名古屋市千種区北千種2-1-10  
名古屋市立大学芸術工学部/鈴木研究室  
TEL:052-721-5266 FAX:052-721-3110  
E-mail:ken@sda.nagoya-cu.ac.jp

「特定非営利法人子ども健康フォーラム事務局」（弁当申し込み先）  
〒470-0207 愛知県西加茂郡三好町福谷広久伝15-89-706篠原方  
TEL:090-6570-2709 FAX:0561-36-6643  
E-mail:nami-shino@mtc.biglobe.ne.jp  
ホームページ:http://www.npo-cln.org/

## プログラム

9：00～ 9：30 受付  
9：30～ 9：35 主催者挨拶 田邊穰（NPO子ども健康フォーラム理事長）

9：35～10：25 基調講演  
『小児と家族のための療養環境デザイン』  
鈴木賢一（名古屋市立大学芸術工学部教授）

10：25～12：05 一般口演 第1部 座長：棚瀬佳見（あいち小児保健医療総合センター保育士）

- 『やさしい美術－病院とのコミュニケーションから生まれる表現－』  
高橋伸行（名古屋造形大学准教授）
- 『学生による病院の壁面装飾プロジェクト』  
岡庭純子、鈴木賢一（名古屋市立大学芸術工学部）
- 『建築空間における壁面装飾の役割と可能性－保育園、幼稚園、授産所、わくわくる－む－』  
篠原佳則（NPO子ども健康フォーラム、安井建築設計事務所）
- 『新築移転における「わくわくる－むぞう・うさぎ」立ち上げ－急性疾患患児にも療養環境の改善を－』  
安藤千穂（豊田厚生病院保育士）梶田光春（小児科部長）一柳容子（看護師長）杉山和美（小児科看護主任）
- 『医療者のイメージを一新させた子ども中心の空間－マニュアルわくわくる－むを開設して－』  
鈴木理恵（近畿大学医学部附属病院保育士）竹村司（小児科教授）田端信忠（小児科医）二宮好美（看護部長）  
谷川智美（看護師）京極恵（保育士）
- 『小児病棟における療養環境向上への取り組み  
－ようこそわたしたちの美術館へ 見て！見て！わたしの作品－』  
堀田万里子、中村美保子、益留慎吾、海江田ちえみ（宮崎大学医学部附属病院）
- 『子どもの療養環境改善活動に関する実践の報告－なないろの魚の水族館－』  
佐藤高子、原山幸恵、鈴木せつ子（NPO法人メンタルケアなないろの森）

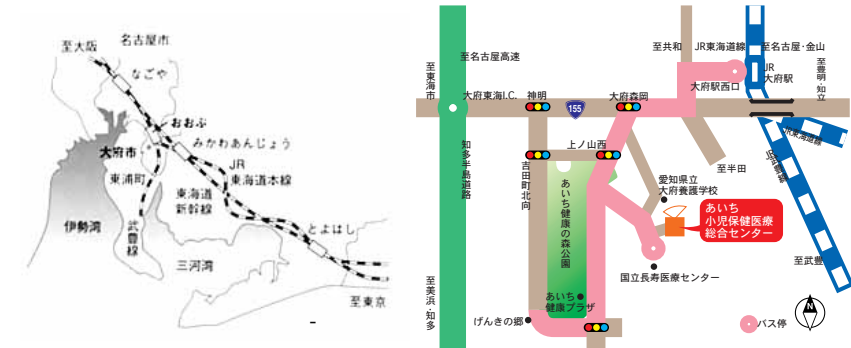
12：05～13：00 休憩（昼食）

## 会場案内 あいち小児保健医療総合センター地階大会議室

〒474-0031 愛知県大府市森岡町尾坂田1-2  
電話 0562-43-0500（代表）

・JR名古屋駅よりJR大府駅まで約12～20分、  
JR岡崎駅よりJR大府駅まで約15～20分  
JR大府駅西口から知多バスで約10分、  
バス停「小児センター」にて下車

・名古屋市の中心部より自動車で約30分、  
名古屋高速から知多半島道路経由



13：00～14：25 一般口演 第2部 座長：松平千佳（静岡県立大学短期大学部社会福祉学科専任講師）

- 『スヌーズレンにピアノ演奏を導入した療育活動』  
清水京子（国立病院機構天竜病院療育指導室主任保育士）、灰田好一、森一夫、木村廣子（児童相談員）、  
鈴木立枝、河合絹代、西田昌子、渡邊由佳、河合かより、長谷優子（保育士）
- 『発達障害児及びその家族のサポート－支援の仕組みをつくるために－』  
田中弘美（障害を持つ子ども父母のネットワーク愛知）
- 『早期発見・早期治療と親の反応－豊橋における障害児を持つ親へのアンケートからの考察－』  
大林博美（豊橋創造大学専攻科福祉専攻准教授）
- 『入院患児の一番身近にいる親へのサポート－音楽と共に親業によるコミュニケーション体験－』  
太田智恵子、上川和子（育ちあう人間関係研究所）
- 『赤ちゃん・重症児をプレイルームに連れ出そう！！』  
伊藤盛子（豊橋市民病院小児科病棟保育士）藤原広美（主任看護師）
- 『小児病棟における行事の医師・看護師・保育士の参加報告－先生大好き！先生がサンタさんだ！－』  
山下雅子（長良医療センター副看護師長）上平文、森明子（看護師）千田千津（保育士）石原敬子（看護師長）

14：25～14：30 「マニュアル生命子どもの療養環境改善寄付金」「マニュアルわくわくる－むプロジェクト」ご案内

14：30～14：45 休憩

14：45～15：35 教育講演  
『これからの子どもの療養環境の課題』  
長嶋正實（あいち小児保健医療総合センター名誉センター長）

15：35～17：00 一般口演 第3部 座長：浅田佳代子（あいち小児保健医療総合センター看護師）

- 『わくわく にこにこ ハイポーズ！－行事の記念撮影と入院前のオリエンテーション資料の作成－』  
加藤優子、北村さやか、京極恵、南沙苗（東京北社会保険病院小児病棟保育士）
- 『手術後居室改善報告－いたいの いたいの とんでけー！』  
永井義江、服部由紀子、澤田文乃、伴野悦子（愛知県青い鳥医療福祉センター肢体不自由児棟保育士看護師）
- 『こどものこころに寄り添うプリパレイション－チャイルド・ライフ・スペシャリストの取り組み－』  
馬戸史子（大阪大学医学部附属病院小児科CL S）柿添真由美（前小児外科看護師長）平林高子（小児科看護師長）
- 『まいど～！ワゴンdeプレイルームがやってくる♪－子どもが心地よく過ごせる病院をめざして－』  
山地理恵（大阪市立総合医療センター保育士・HPS）、岸本典子、北濱未津、日下美帆（保育士）、  
田中みゆき、酒井未来、西川美和子（看護師）
- 『Hospital Playの概念化を目指して－Playの持つ意味を考える－』  
松平千佳（静岡県立大学短期大学部社会福祉学科専任講師）
- 『わくわく読書でドキドキ気分を吹き飛ばせ！－外来図書コーナーの増冊に伴う報告－』  
田中久美子、棚瀬佳見（あいち小児保健医療総合センター保育士）